

たるばとプロジェクト 取組状況

(小樽市子どもの読書活動推進計画の図書館分 令和6年度－令和7年度)

※小中学校・学校図書館支援は、別紙 学校支援表参照

成果・状況等 (令和6年度)	変更予定・検討等 (令和7年度)
基本方針1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供	
【成果】 ・多く参加する児童には、読み聞かせへの集中力や本への興味の高まり、工作への習熟がはっきりと見て取れる。 ・たるばとクラブは、令和6年度より、月2回のうち月1回はボランティアが実施し、より多彩な読み聞かせができています。 ・学校への支援は、施設見学、ブックフェスティバル等が継続し活用され、児童・生徒が本への興味を深める機会となっている。 【状況】 ・小樽市ブックスタート事業は、令和6年12月より、移転後のこども家庭課(ウイングベイ小樽内)で実施となり、広く明るい場所で行えるようになった。	【変更】 ・調べもの学習の支援「こしよなび」は、親しみやすいよう「めざせ！図書マスター」に名称変更。令和7年度は、館内蔵書検索端末の利用方法の案内を予定。 ・読書交流会は、令和5年度に2回で22人参加したが、中高生の参加数は少なかった。令和6年度は行わず。今後の開催については内容を含め検討中。 ・中高生対象の行事として、令和6年度は講座を3回実施し、6人参加。令和7年度も、講座2回、ワークショップ1回を実施予定。「司書講座」というくり方はせず、参加しやすい内容・方法を企画する。
基本方針2 子どもの読書活動に関する普及・啓発	
【成果】 ・「としょかん発おたるこども読書の日」は、令和6年度で第8回となり、毎年続けていることで、こどもの読書週間行事として定着している。 ・「おたるワークステーション」(ウイングベイ小樽で開催する、小学生向け職業体験)に初めてブースを出展し、図書館の仕事への興味を高めた。	【検討】 ・常連の利用者だけではなく、新規の利用にもつながるよう、引き続き、市広報、図書館だより、HP、SNSを効果的に活用し周知していく。
基本方針3 子どもの読書環境の整備・充実	
【成果】 ・令和6年度の寄贈により、児童室やスクールライブラリー便の図書を充実させることができた。 ・デジタルライブラリーで公開する資料を増加させ、小樽の昔の街並みや人の暮らしを手軽に見られるようにした。	【検討】 ・令和6年度から実施の、学校向けWEB予約サービス(HPから予約、学校で受取・返却)が、活用されるよう、実施方法の検討や、周知を行う。 ・令和7年度から、英語の多読図書を導入し、中高生からでも自分のレベルに合わせて英文を読める環境を整備する。
基本方針4 子どもの読書を推進するための体制の整備	
【成果】 ・ボランティア(おたる子ども劇場人形劇サークルぐうちよきばあ、たるBOOK、本との出会いを創る会他)と連携や協力があり、今後も関係を継続できる見込み。	

主な対象	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	学校・学校司書	ボランティア・団体
基本方針1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供								
本との出会い	ブックスタート	図書館の行事や展示による図書紹介				ブックフェアなどの 情報提供	小樽市ブックスタート協議会の 一員として実施	
本を楽しむ場	たるびよタイム	たるばとクラブ	司書講座の参加者が、実施に協力		実施に協力		実施に協力	
		おはなし会	中高生向け司書講座		実施に協力		実施に協力	
対施設・団体等	保育所・幼稚園		小学校	中学校	高校	大学等	学校図書館	ボランティア・団体
読書活動推進 (幼保・学校等)	おはなし会・ブックフェスティバル						支援メニュー利用・ 実施に協力	
		移動図書館車の利用体験						
		施設見学	授業支援、施設見学、職業体験等					
		SL(スクールライブラリー)便						

主な対象	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	学校・学校司書	ボランティア・団体
基本方針2 子どもの読書活動に関する普及・啓発								
普及・啓発	市広報、図書館だより(一般向け・子ども向け)、HP・SNS、子育て応援アプリで広報						メール等での周知	
	こどもの読書週間・「としょかん発おたる子ども読書の日」						実施に協力	実施に協力

整備・充実	児童書・調べ学習用図書の充実、児童コーナーの表示・書架の整備、デジタルライブラリーの充実			学校図書館支援	
	資料展示による本の紹介と貸出し	中高生が作成したPOPや本紹介を展示			

体制整備	保育所・幼稚園支援	小中学校支援	授業支援		学校図書館支援	連携、育成、情報提供、 講師派遣
	貸出文庫、視聴覚資料・機器の貸出し、おたるまちなか図書館設置・支援					

4月になったら、該当箇所に○を入れ、利用校数を可視化する。前年度比を矢印（↑↓→で示す）

年月	A.図書館利用						B.施設訪問					C.移動図書館バス			D.各種貸出し				web予 約	D. 累 計	E.その他	学校読書及 び資料相談 (TEL/GS)	公用車訪 問	学校司書 支援
	1.施設見 学・利用 案内	2.職業体 験	3.利用体 験	4.調べ学 習利用	5.おはな し会		6.運営相 談	7.クリ ニック	8.おはな し会/授 業支援	9.ブック フェス		10.バス 訪問	11.利用 体験		12.SL			13.視聴 覚						
															短期便	長期便	リクエス ト便							
小学校																								
1 忍路中央	○		○						○	○	○		○		○	○								
2 塩谷	○		○						○				○		○	○								○
3 高島	○		○										○		○								○	○
4 幸	○		○										○		○									○
5 長橋	○												○		○								○	○
6 手宮中央	○												○		○	○							○	○
7 稲穂	○		○										○	○										○
8 花園	○		○											○	○	○	○						○	○
9 山の手	○												○	○										○
10 奥沢	○		○											○	○	○	○						○	○
11 潮見台	○		○										○	○										○
12 桜													○		○								○	○
13 望洋台	○		○											○	○	○		○					○	○
14 朝里	○												○	○										○
15 張碓										○	○		○		○	○	○	○		○			○	○
16 桂岡	○		○											○	○	○	○	○					○	○
17 銭函	○													○										○
小学校計	15校↑	0－	10校↓	0－	0－		0↓	0－	0↓	2校↓		1校↓	1校↓		12校↓	9校↑	12校－	6校－	3校		2校↓		8校↓	17校↑
中学校																								
1 忍路									○	○	○		○											○
2 長橋																○							○	
3 北陵													○									○		
4 西陵		○											○		○							○	○	
5 菁園		○												○				○				○	○	
6 松ヶ枝													○											
7 向陽													○	○	○							○	○	
8 潮見台													○										○	
9 桜町													○		○			○				○	○	
10 望洋台													○										○	
11 朝里													○										○	
12 銭函																							○	
中学校計	0－	2校↑	0↓	0↓	0－		0－	0－	0－	1校↑		1校－	1校－		9校↓	2校－	4校↓	0↓	2校		5校－		3校↓	10校↑
小・中学校計	15校↑	2校↑	10校↓	0↓	0－		0↓	0－	0↓	3校－		2校↓	2校↓		21校↓	11校－	16校↓	6校↓	5校		7校↓		11校↓	27校↑

年月	A.図書館利用						B.施設訪問					C.移動図書館バス			D.各種貸出し				web予 約	D. 累 計	E.その他	学校読書及 び資料相談 (TEL/GS)	公用車訪 問	学校司書 支援
	1.施設見 学・利用 案内	2.職業体 験	3.利用体 験	4.調べ学 習利用	5.おはな し会		6.運営相 談	7.クリ ニック	8.おはな し会/授 業支援	9.ブック フェス		10.バス 訪問	11.利用 体験		12.SL			13.視聴 覚						
															短期便	長期便	リクエス ト便							
高校＊参考																								
1 小樽潮陵																								
2 小樽桜陽																								
3 小樽未来創造																								
4 双葉																								
5 北照																								
6 小樽水産																								
7 国立小樽海上技術学校																								
8 小樽明峰																								
9 小樽高等支援学校																								
10 北海道高等聾学校																								
11 高文連ボランティア部会																								
高校計																								
総計	15校↑	2校↑	10校↓	0↓	0ー		0↓	0ー	0↓	3校ー		2校↓	2校↓		21校↓	11校ー	16校↓	6校↓	5校		7校↓		11校↓	31校↑

貸出利用	28/29		SLいずれか利用でカウント
支援件数			貸出以外利用校数＋相談利用校数＋学司配置校数

＊高校は除く

- ・貸出以外利用校数～
- ・相談利用校数～
- ・学司配置校数～

SL館図書	冊増
購入	506冊
寄贈/変更	冊

＊購入冊数を確認する。寄贈/変更冊数は、統計データから昨年度と今年度を比較し、増冊分から購入冊数を引いた数

＊詳細は「蔵書数」タブを確認

21校	11校	16校
62回	11回	50回
3720冊	3420冊	906冊

5校
14回
36冊

＊「件数カウント」タブの数字を確認する

令和7年度 たるばとプロジェクト

別紙4

小樽市子どもの読書活動推進計画
市立小樽図書館子ども読書事業



たるばとプロジェクトは
小樽の子どもたちに読書の
楽しさを伝える図書館
プロジェクトです



たるぴよタイム



学校ブックフェスティバル



おたるワークステーション

市立小樽図書館

たるばとプロジェクトについて

1 基本目標及び基本方針

平成31年3月「小樽市子どもの読書活動推進計画」（以下「計画」）が策定され、平成31年4月から、市立小樽図書館の子ども読書事業として、「たるばとプロジェクト」がスタートしました。

基本目標を「全ての子どもに読書の楽しさを～生きる力を育む読書環境づくり～」として、次の4つの基本方針に基づき、子どもたちが、家庭・地域、幼稚園・保育所、学校、図書館等様々な場所で、いつでもたくさんの本と出会い、読書に親しむ機会の提供や読書環境の整備に取り組む内容となっています。

【計画の基本方針】

- 1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供
- 2 子どもの読書活動に関する普及・啓発
- 3 子どもの読書環境の整備・充実
- 4 子どもの読書活動を推進するための体制の整備

2 市立小樽図書館の子ども読書活動推進の取組

市立小樽図書館では、図書館の4つの運営の方針を掲げ、その1つとして、図書館内に子ども読書チームを立ち上げ、おはなし会やボランティアの方との連携による事業やスクールライブラリー便や学校図書館クリニック等学校図書館との連携・支援等により、子ども読書の取組を進めてきました。

令和元年度より計画のスタートに合わせて「たるばとプロジェクト」として、子ども読書活動の推進に取り組んでいます。令和6年度に行った計画の中間見直しにより把握した「読書習慣の定着」という新たな課題解決に向け、今後も、改善しながら取組を進めます。寄贈図書によるスクールライブラリー便の充実や学校向けWEB予約サービスの開始など、新しい図書館の運営について検討し実施しています。

【市立小樽図書館 運営の方針】

- 1 市民の暮らしやまちづくりに役立つ情報拠点を目指します。
- 2 小樽の歴史・文化を保存し、次の世代へ伝えます。
- 3 子どもと本の出会いをつくります。
- 4 社会教育施設・大学・各種団体機関、商店・企業等と連携するほか、ボランティアとの協働を進めます。

3 たるばとプロジェクト（令和5年度）について

令和7年度は、令和6年度にいただいた寄贈図書を活かし、児童室の環境改善と学校図書支援対策事業の充実及び、令和6年度に開始した学校向けWEB予約サービスの活用方法の検討・改善を重点内容とし、別添の取組案のとおり計画しています。

たるばとプロジェクト（令和 6 年度）

1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供

○本との出会いを生み出す

●小樽市ブックスタート事業

小樽市ブックスタート協議会の構成員として、こども家庭課が実施する乳幼児(10 か月)健康診断時に絵本の贈呈や紹介等を行います。

●たるびよパック（乳幼児向けの図書のセット貸出し）

ブックスタートにおすすめの本を、読み聞かせに不慣れな利用者にも選びやすいよう、専用バッグに入れセットで貸し出します。

○本を楽しむ場の提供

●たるびよタイム 乳幼児向けおはなし会

毎週金曜日午前 11 時～11 時 30 分(館内整理休館日を除く)

乳幼児と保護者を対象に、読み聞かせや手遊び等を取り入れたおはなし会や乳幼児向けの絵本の紹介等を行います。

●ミニミニブックフェス

毎週金曜日午前 11 時 30 分～午後 2 時(館内整理休館日を除く)

子どもが絵本に親しみやすいよう、絵本コーナーに絵本の表紙を見せて 30 冊程度並べて紹介します。

●たるばとクラブ

第 1・3 土曜日午後 2 時～3 時

季節や行事に合わせて、おはなし会や工作、アニメの上映等様々なイベントを開催します。一緒に準備する等、参加型のイベントも行います。

●中高生向け行事

中学生・高校生を対象に、司書の体験を通してより図書館に親しめるよう、図書館での実習やワークショップを行います。

●おはなし会（出前講座）

学校・幼稚園・保育所・町内会等、様々な場所に出かけて読み聞かせをします。

●幼保ブックフェスティバル

幼稚園・保育所等へ約 200 冊の絵本を持参し、読み聞かせやエプロンシアターを行い、絵本の貸出しをします。

●わくわくブック号がやってくる

移動図書館車「わくわくブック号」が学校、幼稚園、保育所等を訪問し、車内の見学、図書館の使い方の紹介、本の貸出しを行います。

●出張展示会

様々な施設や機関と連携して資料展示会を開催します。

●大型絵本・エプロンシアター等の貸出し

学校、幼稚園、保育所、団体等に図書館で所蔵する大型絵本、エプロンシアター、パネルシアター、アニメDVD等を貸し出します。

●貸出し文庫

放課後児童クラブや児童デイサービス等に各施設 30～40 冊程度を長期間（1 か月～1 年目安）貸し出します。

○学校との連携による読書に触れる機会の提供

●学校ブックフェスティバル

学校内に約 1,000 冊の児童書を広げ、多くの本の中からお気に入りの本を宝探しのよう探し、貸出しをする読書イベントを行います。

●職業体験（インターンシップ）

本の整理や貸出し等司書の仕事の体験をする機会を提供します。

●めざせ！図書館マスター（「こしょナビ」から名称変更）

夏休みに、司書が、図書や館内端末を使った調べ方をアドバイスします。

●調べ学習利用

学習の理解を深めるため、図書館での調べ学習の場を提供し、調べ物のアドバイスをします。また、中高生向けのパスファインダー（調べ物案内）により、特定のテーマを調べるための資料や情報の探し方をわかりやすく紹介します。

●授業支援

百科事典の使い方等の調べ学習や、ブックトーク等の様々なテーマで本の紹介を行います。

●講師派遣

高文連や学校図書館関係研修に講師を派遣します。

●施設見学・利用案内

学校、幼稚園、保育所等が市立小樽図書館内を見学します。また、図書館の使い方を説明します。

●わくわくブック号がやってくる（「本を楽しむ場を提供」の同項目参照）

2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

○啓発事業

●こどもの読書週間

4月23日（子ども読書の日）から5月12日までのこどもの読書週間に合わせて展示や児童書利用者へのプレゼントなどを行います。

●としょかん発おたる子ども読書の日の開催

こどもの読書週間中に、市立小樽図書館で、ボランティア、絵本作家等の協力による啓発イベントを開催します。おはなし会、カウンター体験、展示、ワークショップ、わくわくブック号の体験などの多彩な事業を行っています。

●学校における読書活動の紹介

市立小樽図書館において、小中学校の学校図書館だよりの展示や読書の取組を紹介します。

●おたるワークステーションに参加

「おたるワークステーション」（ウイングベイ小樽で開催する小学生向け職業体験）にブースを出展し、図書館の仕事への興味を高めます。

○情報の発信

●「きっすおたる」の発行（毎月）

市立小樽図書館の事業やおすすめの図書等、子ども向けの図書館だよりを発行します。

●学校図書担当向け「たるばとレポート」の発行

学校図書館との連携事業や、おすすめ本の紹介等、学校の読書活動を進めるための様々な情報を紹介します。

●ホームページ、SNS、おたる子育て応援アプリによる情報提供

ホームページやSNS等に子ども読書に関わる大人と子ども向けのコンテンツを作成し、子ども読書に係る事業等の情報を提供します。

3 子どもの読書環境の整備・充実

○市立小樽図書館の環境整備・充実

●児童書の充実

より読書に親しむための絵本、読み物、図鑑等の充実を図ります。

●資料展示会

新刊展示、ミニ展示、テーマ展示等、読書をより楽しむための様々なテーマの資料の展示を行います。

●児童コーナーの整備

親しみやすい児童コーナーとするため、季節に応じた飾り付けや書架づくりを行います。

●デジタルライブラリーの充実

小樽の歴史に関する写真や地図等をデジタル化し、WEB上で公開することで、学校における地域学習への支援を行います。

●おたるまちなか図書館の設置の呼びかけ

町会、各団体と連携し、身近な場所で読書ができる環境の整備・充実を図ります。

○連携による学校図書館の環境整備・充実

●スクールライブラリー便による貸出し

学校における読書や調べ学習、授業で活用する本を貸し出します。
活用に応じた長期便、短期便、リクエスト便があります。

●学校図書支援対策事業（DS便）

読書に苦手意識を持つ児童・生徒に読書の楽しさを伝えることで、生活習慣の改善を図ります。

●学校向けWEB予約サービス

学校の利用者IDでホームページからWEBで図書を予約し、学校で図書の受取と返却ができます。

●学校図書館運営相談

本の選書や整理方法等学校図書館の運営に関する相談を行います。

●学校図書館クリニック

教員やボランティアと協力しながら、古い本の整理や、図書室のレイアウトの変更等学校図書館の改善を支援します。

4 子どもの読書活動を推進するための体制の充実

○子ども読書を支える職員の育成

●学校司書支援

学校司書の研修や活動を支援します。また、学校司書・図書館連携会議において、さまざまな情報提供や読書活動のアドバイス等を行います。

●教職員研修

読書活動に関する教職員向けの研修会を行います。

●子ども読書担当職員の研修会参加

北海道学校図書館や後志図書館協議会の講座等、各種研修会に参加し、スキルアップを図ります。

○ボランティア関係団体・機関との連携

●関係機関・団体等との連携や情報提供

読み聞かせボランティア交流会等各種研修会に講師を派遣する等、育成の支援を図ります。